

北陸朝日放送様は、石川県全域を放送地域とするテレビ朝日系の放送局。地域の出来事を県民の皆様にも早くお届けする地域密着型のテレビであり、石川の今を全国へ発信しています。Lアラート^{※1}から災害情報等を受信して、放送システムへ配信する「Lアラート受信サーバ」を導入した経緯や効果などを技術局技術部部長の北川様に伺いました。

災害が増加し、LアラートをL字放送に使う場面が増えた

社内でLアラートのシステム連携を検討し始めたのは、2013年頃でした。総務省から放送局への災害報道に関する期待もあり、システム連携したいという思いはあるものの、当時、自治体が発信する情報量には地域差があり、石川県からの情報発信はまだ十分ではありませんでした。他局の動向を調査するうちに、全国的にLアラートが普及し、県の防災課も動き出します。そこで、まずはマルチメディア振興センターが運用管理するWEB閲覧ページ（以下コモンズビューワ^{※2}という）で、県が発信する情報の内容や量を見極め、手に余るようであればシステム連携を検討する方針になりました。そんな中、災害が急増しL字放送を行う場面が増えてきたため、社内から「そろそろシステム連携したい」という声が大きくなり、具体的に検討を開始しました。



地上派での豊富な実績を信頼

中京エレクトロニクスのLアラート受信サーバ

は既に複数の稼働実績があり、当時の報道の役員からも理解がありました。設備案件は技術だけでは動けないので、報道制作から名前があがったのは大きいです。社内で稼働中のL字システムとの連携実績もあり、議論の過程で異論なく導入が決まりました。システムは、まずは安定して動くことが一番重要。その次に見やすさや使い勝手などの機能が考慮されます。既に実績があることで安定性が評価されました。

また、コストの面でも納得しています。検討当初はCMSを利用してデータ放送やL字など、複数の配信先へ配信する想定でしたが、運用負荷がイメージできず、コストも見合いませんでした。放送設備に精通していない報道制作からすると、どのようなシステムでも高額に感じるケースが多いですが、L字に限定したことで費用がコンパクトになり、サイズ感もすっきりして、運用がイメージしやすくなりました。結果、費用面と運用面の両方で導入に対するハードルが下がりました。

情報の自動更新でL字原稿が濃くなった

導入してすぐに使用する場面がありました。災害時は電話やFAXなどの取材にかける時間が普段より多く、人手も不足しがちです。導入前は報道デスクがコモンズビューワを確認して、L字端末で原稿を手入力していましたが、平成三〇七月の豪雨災害では、システム連携したことでL字に出す原稿が濃くなりました。定量的に効果を測定することは難しいですが、情報の更新が自動で

災害情報を一早く発信すること、それが放送局の使命。



北陸朝日放送 技術局技術部 部長

北川 嘉市郎 氏

きたがわ・かいちろう ●平成3年の開局以来技術部一筋。息子さんの影響でボーリングにはまり、マイボールを持つ程に。最高スコアは210点。今、最も欲しいものは、スペア専用のマイボール。

ユーザー様ご紹介

北陸朝日放送株式会社 さま

HOKURIKU ASAHI BROADCASTING CO., LTD

設立 一九九〇年十一月十四日

開局 一九九一年一月一日

本社 石川県金沢市松島一丁目三十二番二

事業概要 石川県全域を放送エリアとする

テレビジョン放送



反映されるため、更新の度にコモンズビューワを確認する手間が省け、同様の仕組みを導入している他局に負けず、迅速に放送できるようにになりました。

― 災害への今後の取り組みは？

近年、全国各地で想定外の災害が発生しています。台風の直撃は少ない地域ですが100%大丈夫とは言い切れないため、災害への備えを強化しているところです。災害時の情報量も多くなり、L字放送で全ての文章が1周するのに時間がかかるようになってきました。例えば、情報に対して緊急度や優先度を付加できれば、配信すべき情報を素早く判断でき、編集工程を簡便にすることができると、より早く必要な情報を県民の皆さんへ届けることができるだろうと思っています。

^{※1} 「Lアラート」とは、災害発生時に、地方公共団体・ライフライン事業者等が、放送局・アプリ事業者等の多様なメディアを通じて地域住民等に対して必要な情報を迅速かつ効率的に伝達する共通基盤です。

Lアラートは、二〇一一年六月の運用開始以降、着実にその情報発信者・情報伝達者や扱う情報を増やしています。二〇一八年度末には全都道府県による運用が実現する見込みとなっており、Lアラートは普及の段階を経て、近時の災害においては、速やかに避難勧告・指示、避難所情報等を配信する等、災害情報インフラとして一定の役割を担うに至っています。

^{※2} 「コモンズビューワ」とは、自治体などの情報発信者がLアラートに送信した災害情報などをクライアントPCで蓄積・検索・表示できるソフトウェアであり、受信した情報はRDB形式のDBMSで管理されます。また、コモンズネットワークから受信した情報を随時テキストや地図上に表示することもできます。